

# サイバー攻撃からテレワークを守る

## WatchGuard クラウドソリューション

コロナ禍でテレワーク対応を求められる中、VPNの導入が急速に進みましたが、そのVPNがサイバー攻撃の侵入口として狙われています。攻撃者は、在宅や地方拠点、海外拠点、取引先等、セキュリティ対策の手薄なネットワーク上のポイントを通り、VPN経由で社内ネットワークへの侵入を図ります。WatchGuardは、ネットワーク上の対策が求められるポイントに最新のクラウドベース・セキュリティソリューションを提供します。

### 境界防御の外は無防備

テレワークやモバイルはファイアウォール・UTMの守備範囲外

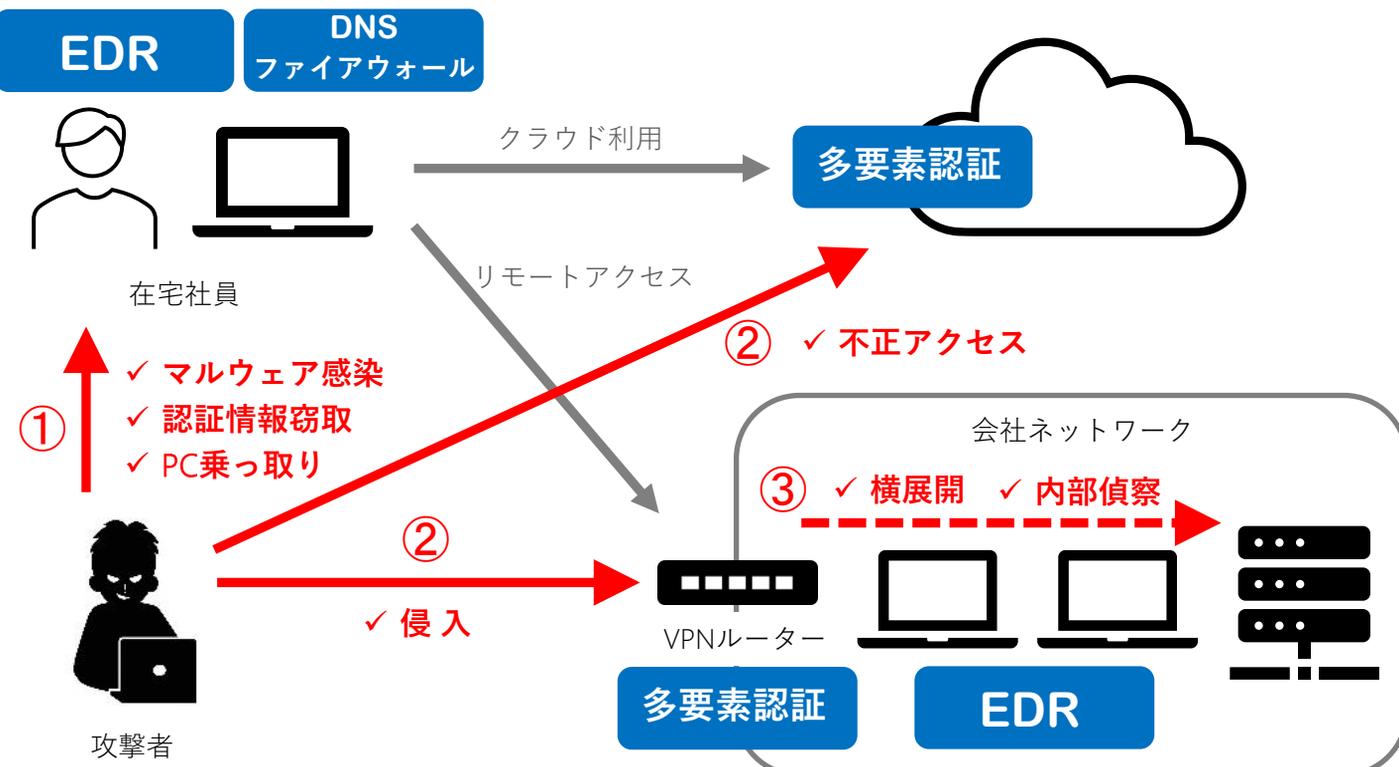
### 未知のマルウェア非マルウェア

既知の情報（ブラックリスト）に依存する従来のアンチウイルスでは検知が困難

### VPNが侵入口として狙われる

ひとたび侵入を許せばネットワーク内を自由に動き回られてしまう

[テレワークを狙う攻撃と対策のポイント]



### EDR

感染に備えPCの挙動を常時監視する

### 多要素認証

なりすましによる不正アクセスをブロックする

### DNSファイアウォール

危険なサイトへのアクセスを未然にブロックする





WatchGuard Panda Adaptive Defense 360はエンドポイントへのサイバー攻撃に対する防御機能と検知・対応機能(EDR)とを1つの軽量エージェントに統合したクラウドベース・セキュリティソリューションです。無防備なテレワーク環境でPCを守る必須の対策となります。

従来製品



従来のアンチウイルスで検知できるのは既知の脅威だけ

Panda AD360



クラウド上のAIサービスとエキスパートが未知のプロセスを100%識別

### 検知・対応機能(侵入後の対処)

- 継続的なエンドポイントの挙動監視
- 未知のプロセスの実行防止
- AIを用いたプロセスの100%分類
- 実環境サンドボックス
- 振る舞い分析とIoA検知
- メモリエクスプロイトに対する自動検知
- 感染プロセスの停止
- 自動対応・自動修復

### 価格例

ライセンス数	1年版単価	3年版単価
101~500	10,140円	24,050円
501~1,000	8,450円	20,410円

- ライセンスは年間サブスクリプションで提供します。
- 上記のレンジ以外の単価はお問い合わせください。
- 金額に消費税は含まれません。

## リモートアクセスやクラウド利用には厳格な認証が必要

どこからでもアクセスできる利便性は攻撃者にとっても同じです。AuthPointは、社内ネットワークやクラウドへのアクセスがあった際に、本人のスマホに承認を求めることでなりすましを排除します。

WatchGuardクラウド  
認証プラットフォーム

クラウドサービス

シングルサインオン

IdPポータルを利用することで複数のクラウドサービスへのSSOも可能

本人のスマホに  
アクセス確認が届く



クラウド利用  
リモートアクセス



社内ネットワーク

VPNルーター

# AuthPoint

WatchGuard AuthPointは、多要素認証(MFA)とシングルサインオン(SSO)を提供するクラウドベースの認証プラットフォームです。

### AuthPointモバイルアプリ

認証要素にスマホを採用  
ハードウェアトークンの所持や管理が不要

### 価格例

ユーザー数	1年版単価	3年版単価
5~250	4,680円	11,050円
251~1,000	3,510円	8,450円

- ライセンスは年間サブスクリプションで提供します。
- 左記のレンジ以外の単価はお問い合わせください。
- 金額に消費税は含まれません。

## DNSWatchGO

## 最も早いタイミングで起動する対策 クラウドベースDNSファイアウォール

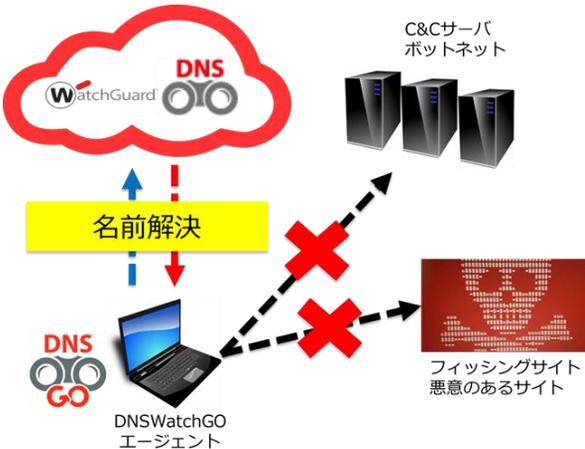
WatchGuard DNSWatchGOはクラウドベースのDNSファイアウォールで、境界防御の外にいるテレワーカーやモバイルユーザーをサイバー攻撃から防御します。

モバイルPCにインストールしたエージェントがDNSリクエストを監視しWatchGuardクラウド上にある脅威情報データベースと連携して、危険なサイトへのアクセスを遮断します。

### 価格例

ユーザー数	1年版単価	3年版単価
5~250	9,540円	23,040円
251~1,000	7,740円	18,180円

- ライセンスは年間サブスクリプションで提供します。
- 上記のレンジ以外の単価はお問い合わせください。
- 金額に消費税は含まれません。



不正インフラへのアクセスをブロックすることにより、マルウェア感染やフィッシングを未然に防ぐ